

# 県内の新型コロナウイルス感染症の現状と社会活動に関する基本的な考え方について

## 1 現状分析

県内でこれまでに発生した10例の新型コロナウイルス感染症患者のうち、

- 4例（ひたちなか市、つくば市、阿見町）は、渡航歴があり海外での感染が疑われる事例（イタリア、スペイン・フランス、タイ）（うち1例については、現在調査中）
- 4例（つくば市）は、家庭内感染が疑われる一連の事例
- 2例（土浦市、牛久市）は、東京都内での感染が疑われる事例（うち1例については、現在調査中）

本県における現状の発生動向から、県内での感染が疑われ、かつ感染源が明らかでない事例が増加している状況にはなく、「継続的な感染の連鎖や集団感染（クラスター）が発生している蓋然性は高くない状況」に変化はないと考えられる。

このことから、海外からの輸入例、および東京都をはじめとした本県よりも感染の拡大が進んでいる他地域からのウイルスの持ち込みを極力防止するために、以下の対策を改めて確認するとともに、各自の衛生対策等の取組の一層の強化を要請する。

## 2 当面の対応

- ① 2週間以内に海外から帰国された方は、自宅待機にご協力頂くとともに、「帰国者・接触者相談センター」にご連絡をお願いします。
- ② 都市部など感染が拡大している地域への移動については、慎重な判断をお願いします。当該地域に通勤されている方については、テレワークによる在宅勤務と、混雑を避けるためのフレックスタイムの積極的活用にご協力ください。

※ 咳エチケット、こまめな手洗いなど、現状行っている衛生対策を引き続き行っていただきますよう、お願いいたします。特に、高齢者や持病をお持ちの方、また高齢者に日常的に接する方については、自らの行動に十分ご留意願います。